

営農情報

7²⁰²⁰月号 No.92

J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課
TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085

今月の話題

◆ 幼穂形成期～出穂期の栽培ポイント

- ・ 7月の気象予報
- ・ 病害虫対策
- ・ 穂肥施用について
- ・ 常時湛水管理

◆ しらしがメール しらしがLINE@ を活用しましょう



要件

- みずかがみ（全農基準）・コシヒカリ・特別栽培米コシヒカリで個袋及びフレコンにて出荷した検査等級が1等の米
- J A自主分析で、整粒80%以上・食味値80点以上の米

メモ

- ✓ ケット製穀類水分計(ライスタ, PB, PM) 点検受付中 7月22日(水)まで
点検料 1台 1,100円(税込)
お申し込みは
各支店又は営農経済渉外まで
- ✓ 家庭菜園用肥料農薬申込受付中!



7月4から7日まで穂肥農談会を開催しました。県とJAから生育情報と今後の栽培の注意点を説明しました。持参いただいた稲の幼穂長を確認し、穂肥時期をお伝えしました。

近年高温が続いていますので、一発肥料であっても追肥が必要になることがあります。稲の葉色を確認していただくようお願いします。連絡いただければ圃場へ伺いますのでよろしくお願いいたします。

幼穂形成期～出穂期の栽培技術ポイント



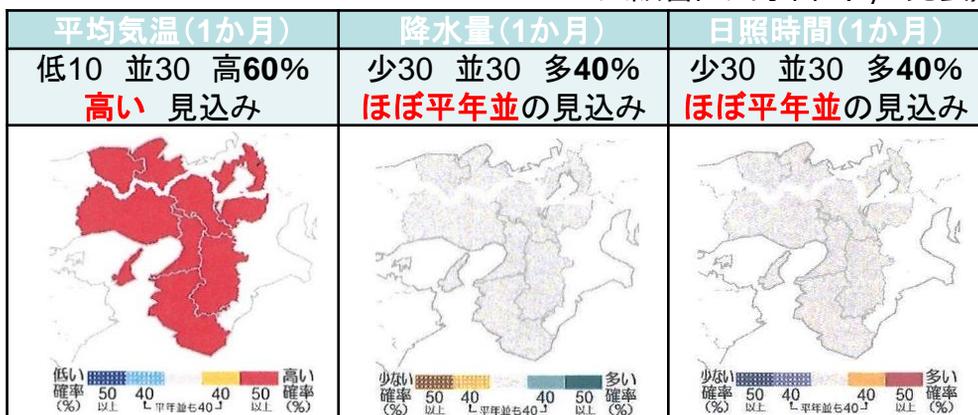
7月の気象は気温が高く、日照時間、降水量はほぼ平年並みの予報となっています。今後、基本技術である穂肥施用、病害虫防除、常時湛水管理が重要となります。

7月の気象予報

大阪管区气象台 (7/2発表)

ポイント

7月の予報
暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の平均気温は高い見込みです。



病害虫対策

7月は米の品質、収量の影響のある病害虫の発生の時期です。圃場を確認していただき病状が見られれば病害対策を実施していただくこと、今冬は積雪がなかったため、斑点米カメムシ類が越冬し個体数の増加が心配されますので、畦畔の除草と薬剤防除で斑点米カメムシによる品質低下がないよう対策を行いましょ。

今後の主な病害

病害	感染好適条件	気象条件	稲体の条件
紋枯病	✓ 気温：28～32℃	✓ 高温	✓ 早植 (4月下旬～5月上旬) ✓ 密植 ✓ 窒素肥料の過用
いもち病	✓ 気温：20～25℃ ✓ 稲体の濡れ時間8時間以上	✓ 低温で日照不足 ✓ 降雨日数が多い ✓ 降雨・霧による水滴 ✓ 強風による葉の傷	✓ 窒素分が多く、葉色が濃い ✓ 山影など朝露が乾きにくいところ ✓ 補植用置き苗の放置 ✓ マグネシウム欠乏

病害対策

早期予防が重要です

病害	病状	薬剤	防除ポイント	散布時期
紋枯病		リンバー粒剤	✓ 株元に病原を確認したら散布が効果的 ✓ 特に昨年発生ほ場は注意!!	出穂前30日～出穂期まで
いもち病		コラトップ粒剤5 特裁 ジャンボ P・豆つぶ	✓ 発生が確認されたら、出穂3～4週間前の散布が効果的	出穂30日前～5日前まで
		ブラシン粉剤 D L	✓ 発病初期を逃さず散布。 ✓ いもち病の病斑を見つけたらただちに防除。	収穫7日前まで

【病害虫発生予報第5号6/23発表】

葉いもち	発生時期	平年並
紋枯病	発生量	平年並

水稲いもち病発生予測システム
BLASTAM

滋賀県ホームページの滋賀県病害虫防除所で発生時期が予測可能です

斑点米カメムシ対策

①ほ場内の除草

水稻の出穂前のヒエの穂は、斑点米カメムシ類の誘引源・発生源となりますので、手取り除草など対策が必要です。

②畦の除草

草刈りのタイミング

草刈 1回目

出穂2～3週間前
(7月10日頃)



草刈 2回目

出穂期頃
(7月30日頃)

ポイント

イネ科雑草を結実させないよう
適期の草刈りを行いましょう。

令和元年滋賀県産米
検査結果 (10/15)

品質低下の要因

斑点米カメムシよるもの：10.7%
(H30：6.6%)

③薬剤防除

害虫	防除ポイント	薬剤	散布時期
斑点米 カメムシ	✓ 適期防除 ✓ 草刈りの実施	特裁 スタークル粉剤 液剤・粒剤	【粉剤・液剤】 出穂期 7～10日後 【粒剤】 出穂期 7日後

【カメムシの種類】



ホソハリカメムシ



アカスジカスミカメ



クモヘリカメムシ

圃場を観察
してみましょう



☑ 穂肥施用について

近年、登熟期間中に高温が続くことにより、稲の栄養が不足し、登熟が阻害されることで白未熟粒の発生が多くなっています。そのため穂肥の適切な施用が必要になりますが、穂肥の多施用や実肥は、タンパク質含量を増加させ食味低下を起こすため、生育に応じた穂肥の施用が重要となります。

穂肥施用目的・施肥時期のポイント

- ✓ 籾や枝梗の退化を防ぐための籾数を確保する。
- ✓ 穂となる茎の割合を高めて穂数を増やし、籾を大きく実入り(登熟歩合)を高める。

穂肥が**早すぎると**・・・過剰な籾数、倒伏恐れあり、乳白粒増加
穂肥が**遅すぎると**・・・籾数減少、玄米タンパク増加

未熟粒増加
食味低下
登熟歩合低下

穂肥施用時期

コシヒカリの10aあたり施用量 (目安)

肥料名 (成分)	施肥量		穂肥時 幼穂長
	1回目	2回目	
化成肥料201 (N20・P0・K10)	10kg	10kg	10mm
アヅマップ545 (N15・P4・K15)	15kg	15kg	10mm
ハーブゆうき※ (N10・P6・K10)	20kg	10～ 20kg	2mm
ハーブコート306※ (N13・P0・K6)	30kg	—	1mm

1回目：出穂18日前(幼穂10mm)
2回目：出穂4日前(山間地域は11日前)



幼穂を確
認しましょう



※ 環境こだわり取組みの場合は、化学窒素量4kg/10a以下になるよう注意しましょう。

今年の出穂期見込み 5月3日植 ⇒7月28日頃
5月10日植⇒7月31日頃

一発肥料のポイント

一発肥料を使用されていても、出穂前に葉色が薄い場合は、稲の栄養を維持し、外観品質の向上を図るため、10aあたり窒素成分1kg程度の穂肥を施用します。
(葉色値でコシヒカリ3.8以下、日本晴4.0以下の場合)

【窒素1kgの計算】

- ◆ 化成肥料201(N20・P0・K10)であれば、窒素が20kg袋に20%含まれているため
施用量 = 窒素量 ÷ 窒素含有割合 = 1 ÷ 20/100 = 5kg
よって5kg施用すれば1kgの窒素が施肥できます。
アヅマップ545(N15・P4・K15)は7kgで窒素量1kgです。

☑ 常時湛水管理

カドミウム吸収抑制対策のため、出穂前後各3週間の常時湛水管理を必ず実施しましょう!!

適正な水管理

- ✓ 稲が一生で一番水を必要とする時期です。
- ✓ 水が不足すると光合成ができず、白未熟粒の発生、籾の充実不足が助長されます。
- ✓ 湛水管理は深水にならないよう、水深3～5cmの浅水管理を行います。

湛水管理で
品質UP!



しらがメール しらがLINE@を活用しましょう

滋賀県の稲作情報も配信しています



しらせるしがの安全・安心情報
しらがメール
しらがLINE@

配信例

基肥一発肥料栽培のコシヒカリに関する情報

5月上中旬に移植されたコシヒカリの生育は現在のところ平年並みです。また、向こう1か月の天気予報では平均気温は低く、日照時間は平年並みか少ない見込みです。このことから、本年は、標準量の基肥一発肥料を施用しているコシヒカリの追肥の必要性は低いでしょう

配信情報

- 気象情報
- 地震情報
- 避難情報
- 河川水位情報
- 雨量情報
- 土砂災害警戒情報
- e t c ...



メール ☒ はこちらから

<http://www.pref.shiga-info.jp>

QRコードまたは上記URLから登録画面に進み、
entry@pref.shiga-info.jpへ空メールを送信してください。



LINE ● はこちらから

<https://www.pref.shiga-info.jp/ShiraLineWeb/service/index>

こちらのQRコードから「しらがLINE@」を友達登録してください。
上記URLからも登録画面へ進めます。